21世紀杯参加報告記

山下 宏

1　21世紀杯とは

2001年7月22,23日にコンピュータ囲碁大会「21世紀杯」がアメリカのヨーク大学で行われた。この大会は今年から新設された大会で主催はIntelligent Go Foundation。会の代表はBob Myers氏で、氏は日本に15年ほど住んでいらしたそうである。賞金総額は$10,000で優勝は$5,000(60万円)。8位まで賞金があった。

参加者は世界6カ国から12チームで日本からは河龍一氏(Haruka)と私(Aya)が参加した。

Intelligent Go Foundationについては日本語で詳しいWebページが作られているのでそちらをご覧頂ければ、と思う。

http://www.intelligentgo.org/jp/index.html

2　ヨーク大学とUS.Go Congress

会場のヨーク大学はペンシルバニア州ヨーク市にありワシントンD.C.から北に140kmに位置する地方大学である。ここでは9日間に渡ってU.S.Go Congressというアメリカ最大の囲碁大会が開催されており、その一環として21世紀杯も開催された形だ。メインの人間同士の大会であるU.S.Openは午前中、21世紀杯は午後とどちらも参加可能になっていた事もあり、作者の方も半分以上がU.S.Openにも参加していた。U.S.Openは1日1局で全6局を打つ優雅な大会で、日本だったら1日で終わらせてしまいそうだ(しかも4日目にはお休みの空き日まであった)。参加者は全部で200名以上？だろうか。日本、中国などからもたくさんの人が参加していた。

宿泊場所は大学の寮を格安で借りられ(3食付きで$40)また周りには何にもないため(町の中心まで2kmくらい)囲碁を打つ環境としては誘惑が少なく？いい場所であった。

3　OSと言語による問題点

パソコンは英語版のWindows2000がインストールされたマシンが貸し出されたのだが、中国の2つと日本のHarukaが正常に動作せず大会当日の30分前にWindowsMe（英語版）を買ってきて急遽インストールしなおす、という突貫工事が行われた。中国勢は通信が不調でHarukaはDLL内の関数がない、というエラーだったがWinMeでは無事に動いて解決していた。Win98系とNT系ではやはり微妙に違うようだ。私はノートを持参したので問題はなかったのだが、それもバッテリーパックを外さないと通信エラーが時々起こる、という代物で通信囲碁対局にエラーは付き物のようである。

しかし表示している日本語が文字化けして読めない、というのはやはり不便である。1日目HarukaとWuluが対戦した際、盤面持碁になったのだが作者の河氏(と私)は対局の流れと相手の雰囲気からてっきり負けたと思いこみ、さっさとヨークのダウンタウンまでやけ酒を飲みに行ってしまった。

が、2日目の朝の対戦表を見ると、あれ？Harukaが勝ったことになっている。確認してみるとHarukaは白番だったのでコミで勝っていた事が判明！。将棋ではコンピュータ同士が正しい判定をして人間同士が間違った判定をしたケースもあり、人間の判定は油断ならない。(大会は中国ルールでパスすると−1目かかるため、その辺りでも混乱が少なからずあったのだが)

4　全勝同士の１番

事実上の優勝決定戦となった Haruka - Go4++戦は、中央に大きな地を作った黒の Haruka が優勢に（図１）。しかしここで Haruka が M-11 にオサえずに I-6 へ打ったため、すかさず M-11 に出られて中央の地がごっそり減ってしまった。最後は惜しくも Haruka の４目半負けとなった。

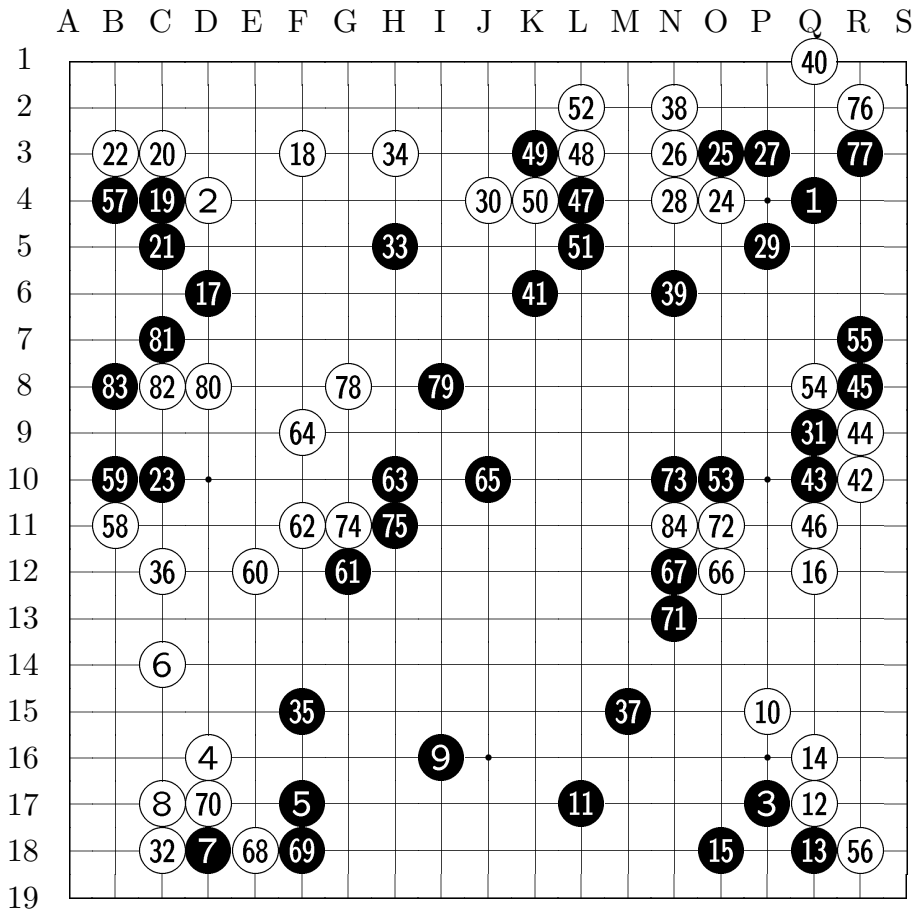

図 1: 黒：Haruka 対 白：Go4++(84 手目 N-11 まで)

私自身は新興勢力である SmartGo、GnuGo などに敗れいいところなく 10 位に沈んだ。個人的な印象では上位の伸びはそれほどでもないが中堅の GoStar などが強くなっていると感じた。

5 最終結果

スイス式 6 回戦の結果、優勝は 5 勝 1 敗で Go4++。2 位は直接対決で Go4++に敗れたもの同じく 5-1 で「Haruka」が入った。会長の Bob Myers 氏は Ing 杯のように世界を持ち回りで開催したい、と話されていたので来年はアメリカ以外で開催される事もありそうである。

「21 世紀杯」結果。2001 年 7 月 22 ~ 23 日 於：ヨーク大学、ペンシルバニア州アメリカ

	Go4	Har	Wul	Mfg	Sma	GoS	GoI	Gnu	Gol	Aya	Exp	Plo	勝敗	SOS	順位
Go4++		○	×	○			○	○	○				5-1	21	1
Haruka	×		○	○	○		○				○		5-1	21	2
Wulu	○	×			○	○		×		○			4-2	22	3
Mfg	×	×				○	○			○		○	4-2	18	4
SmartGo		×	×					○	○	○		○	4-2	15	5
GoStar			×	×					○	○	○	○	4-2	12	6
GoI	×	×		×				○	○		○		3-3	20	7
Gnu	×		○		×		×			○	○		3-3	18	8
Golois	×				×	×	×				○	○	2-4	17	9
Aya			×	×	×	×		×				○	1-5	19	10
Explorer		×				×	×	×	×			○	1-5	17	11
Plodder				×	×	×			×	×	×		0-6		12

優勝 Go4++

2 位 Haruka

3 位 Wulu

5 位 SmartGo（ニューフェイス賞）Ing や FOST、SG 杯に未参加で最高位のプログラムに授与

順位	プログラム名	作者	国籍
1	Go4++	Reiss, Michael	UK
2	Haruka	Kawa, Ryuichi	Japan
3	Wulu	Lei, Xiuyu and others	China
4	MFG	Fotland, David	US
5	SmartGo	Kierulf, Anders	US
6	GoStar	Lu, Jimmy	China
7	Go Intellect	Chen, Ken	US
8	GNU Go	Bump, Daniel and many others	various
9	GoLois	Cazenave, Tristan	France
10	Aya	Yamashita, Hiroshi	Japan
11	Explorer	Mueller, Martin	Canada
12	plodder	Newman, William Harold	US